

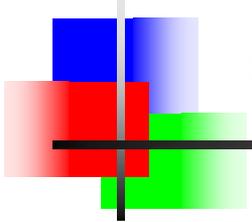


2010年3月期 決算説明会

2010年5月

東和薬品株式会社

(証券コード:4553)

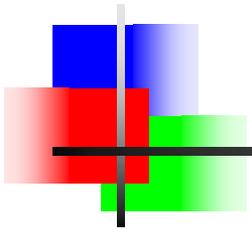


CONTENTS

I . 2010年3月期実績 2

II . 2011年3月期見通し 12

I . 2010年3月期実績

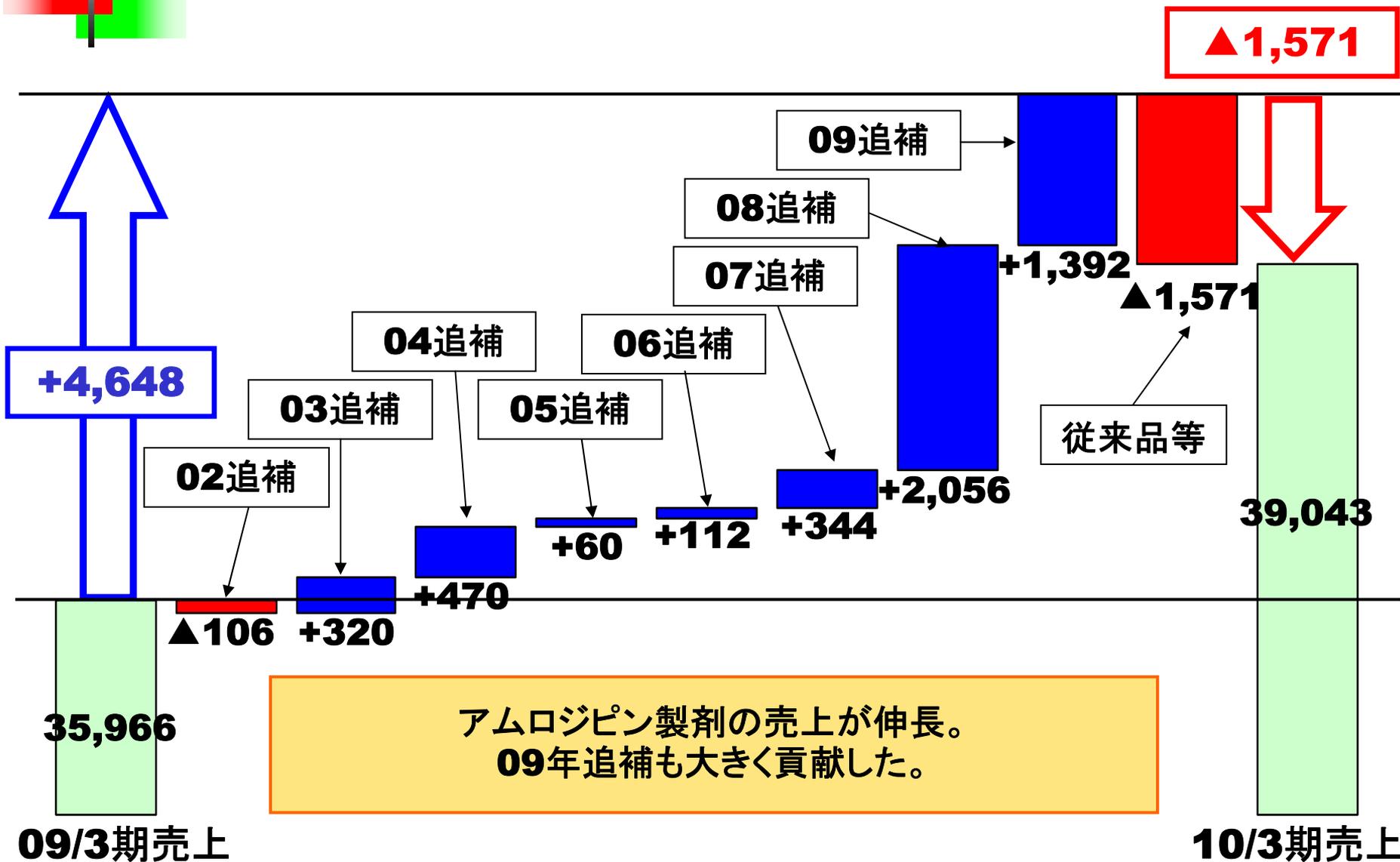


2010年3月期業績概要

	10/3期			09/3期	
	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	前年同期比 (百万円、%)	金額	対売上高比率 (%)
売上高	39,043	—	+3,076 (+8.6)	35,966	—
売上総利益	20,249	51.9	+2,628 (+14.9)	17,620	49.0
販管費	12,504	32.0	+1,291 (+11.5)	11,212	31.2
営業利益	7,744	19.8	+1,336 (+20.9)	6,408	17.8
経常利益	7,430	19.0	+747 (+11.2)	6,682	18.6
当期純利益	4,601	11.8	+824 (+21.8)	3,777	10.5

売上高増減分析

(単位:百万円)

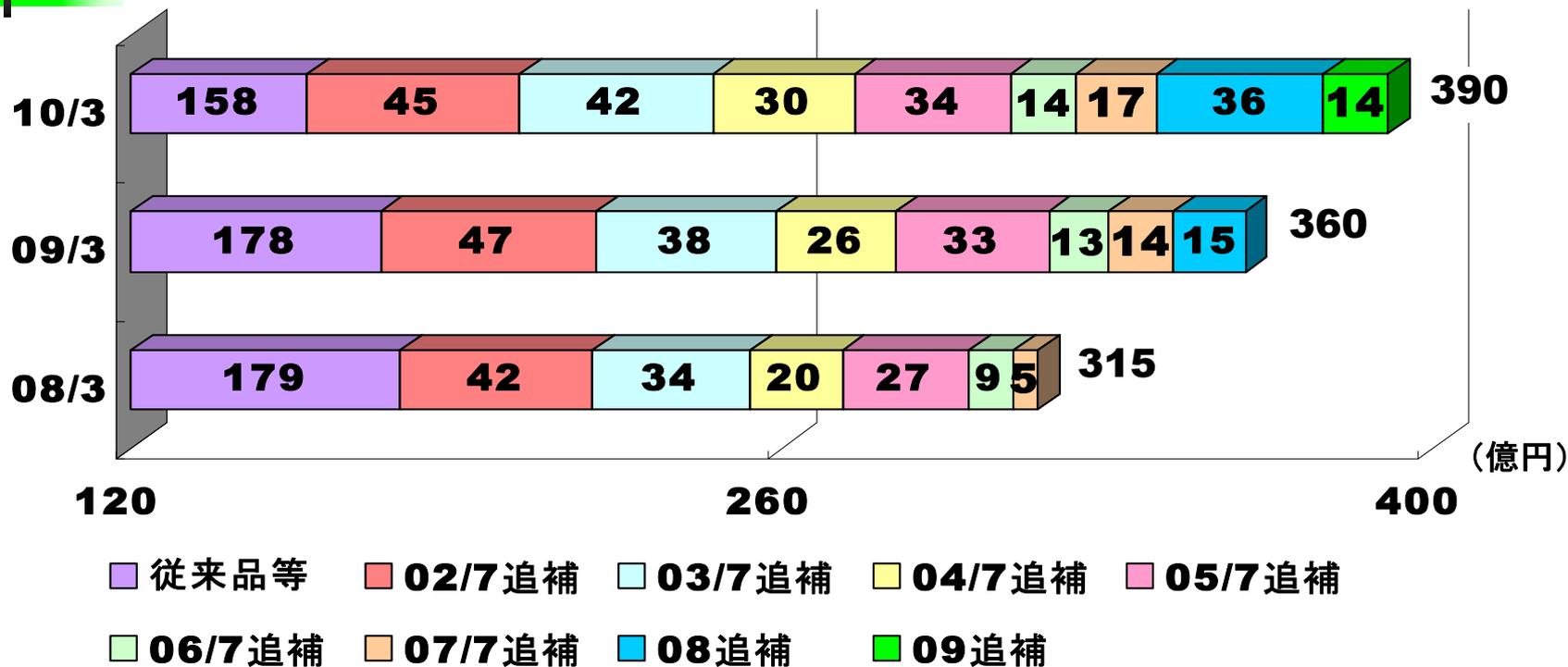


アムロジピン製剤の売上が伸長。
09年追補も大きく貢献した。

09/3期売上

10/3期売上

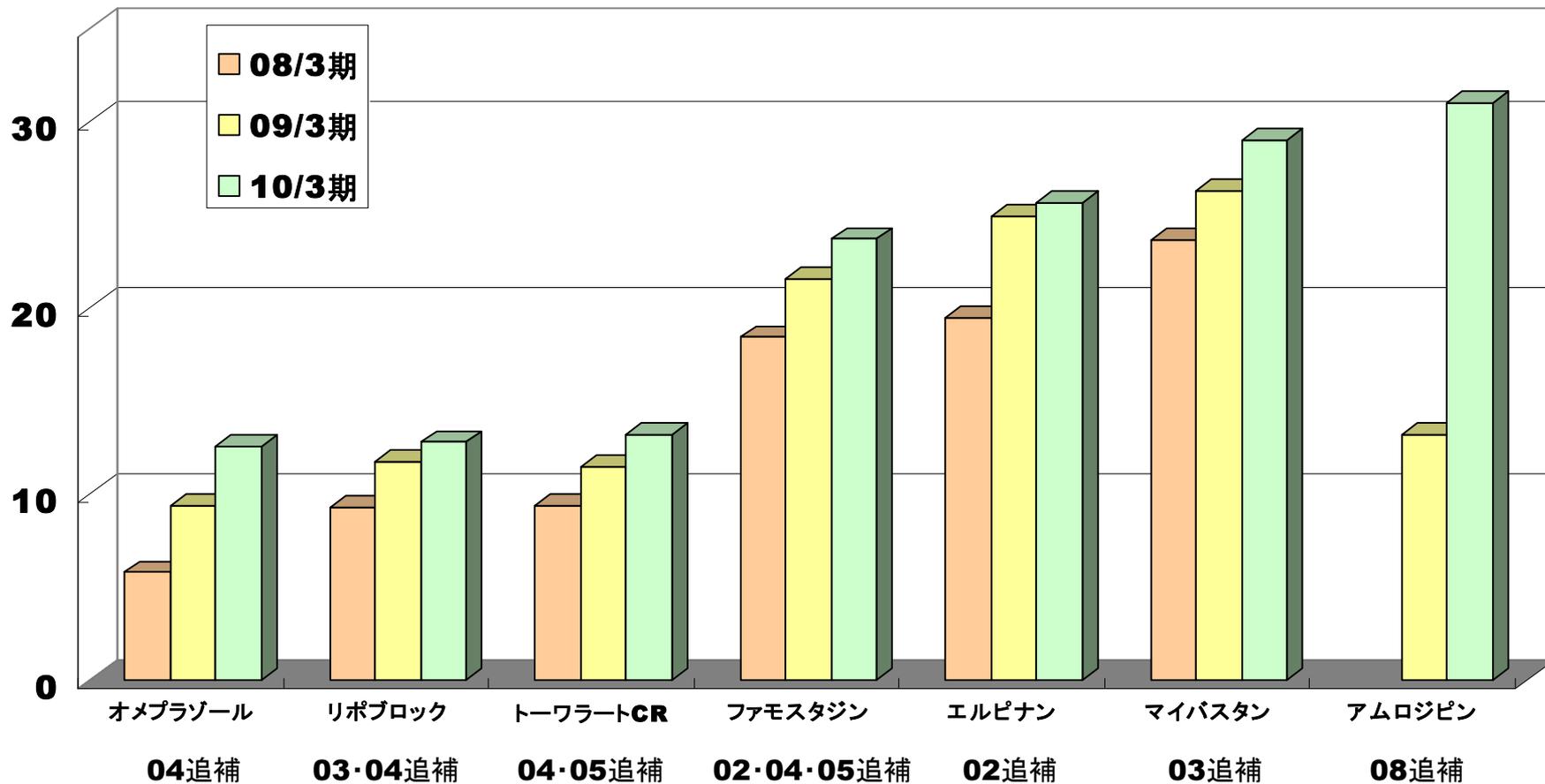
追補年度別売上高推移



- **09年度追補は、予算6億円に対して+8億円。ランソプラゾールOD錠の貢献大**
- **08年度追補は、アムロジピンが計画以上の伸び。**
- **03~07年度追補は、着実に伸長。**
- **従来品等は、他社商品および従来品が減少している。**

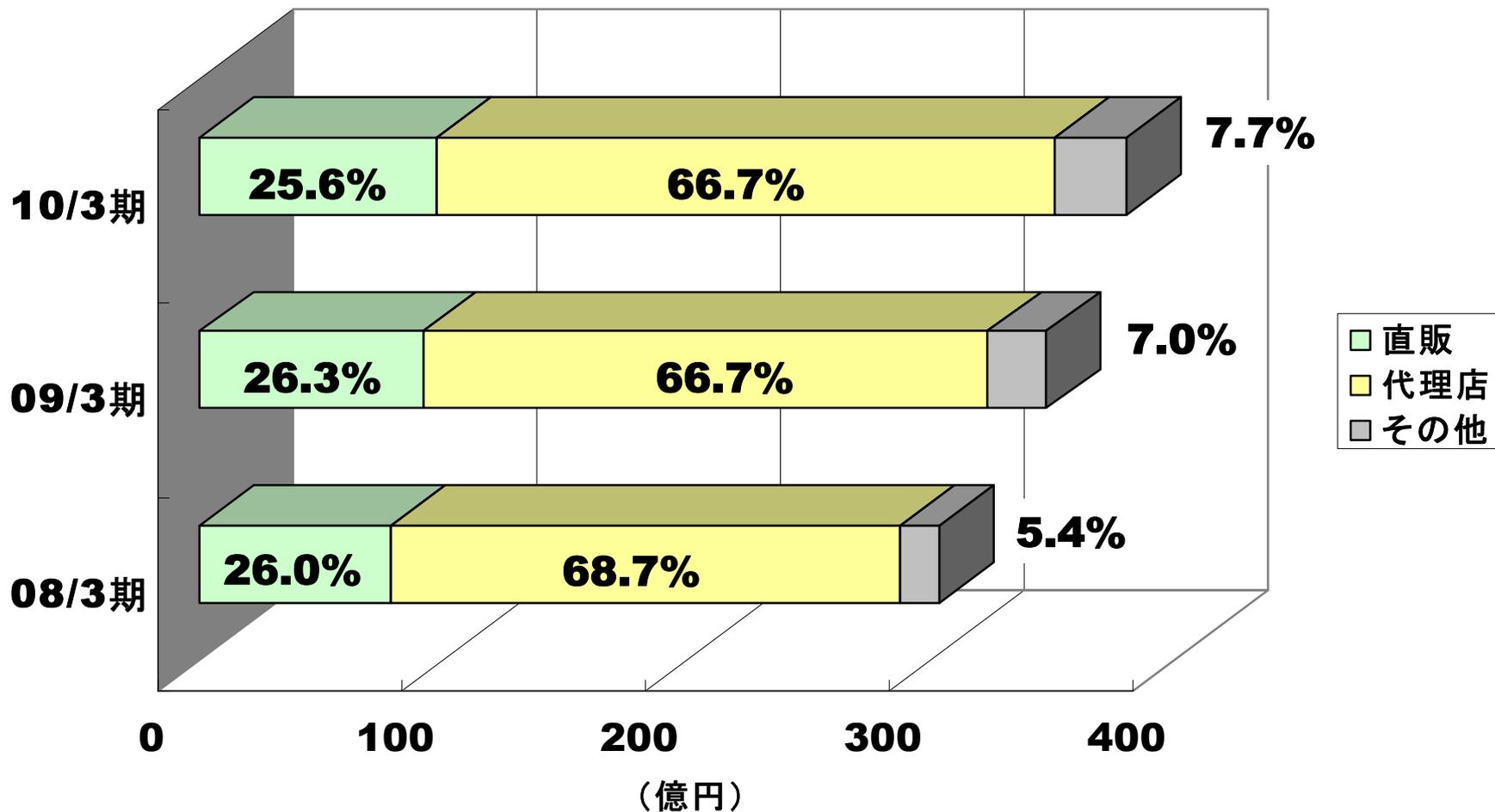
主要品目の売上推移

(億円)



売上高詳細(販路別)

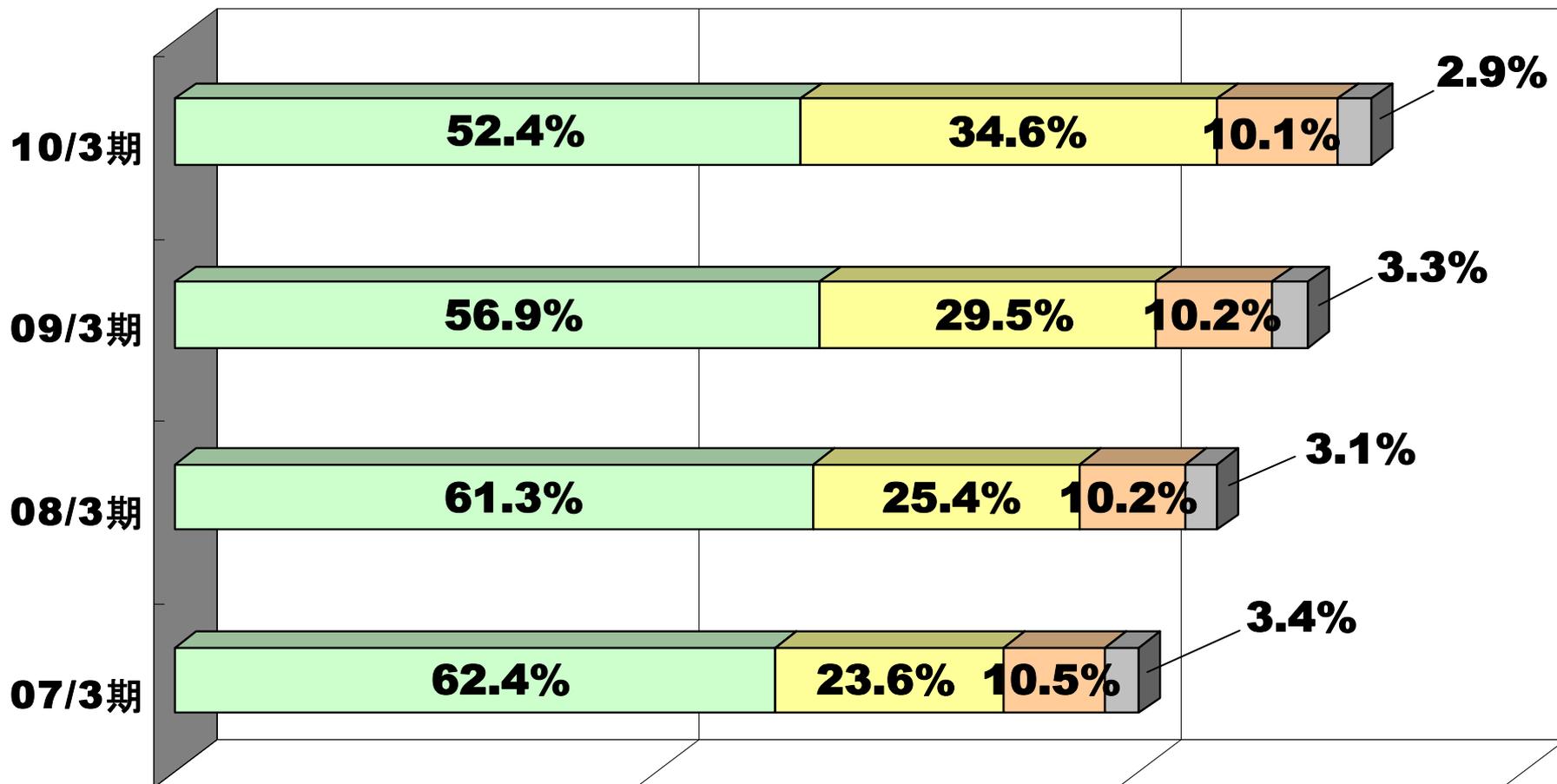
(単体)



売上高詳細(納入先別)

(単体)

■ 診療所 ■ 保険薬局 ■ 病院 ■ その他



販管費

(単位:百万円)

	10/3期	
	実績	前期比 増減
人件費 (前年同期)	5,886 (5,551)	+335
研究開発費 (前年同期)	2,565 (2,319)	+245
広告宣伝費 (前年同期)	812 (775)	+37
その他 (前年同期)	3,241 (2,566)	+673
合計 (前年同期)	12,504 (11,212)	+1,291

人件費の増加

- 新卒・中途者の積極採用のため

研究開発費の増加

- 付加価値製剤の開発や、前倒し開発着手などにより増加

広告宣伝費は微増

- TVCMの継続

売上増に伴う諸経費の増加
貸倒引当金 +300

営業外収支及び特別損益

(単位:百万円)

	10/3期	09/3期
売上高	39,043	35,966
売上総利益	20,249	17,620
販管費	12,504	11,212
営業利益	7,744	6,408
営業外収益	206	325
スワップ評価益	0	103
営業外費用	520	51
スワップ評価損	277	0
有価証券評価損	114	4
経常利益	7,430	6,682
特別利益	0	307
退職給付制度終了益	0	231
特別損失	96	746
投資有価証券評価損	68	345
減損損失	0	271
当期純利益	4,601	3,777

- スワップ評価損**277**百万円を計上

円相場

09年3月末 97.23円/\$

10年3月末 92.40円/\$

貸借対照表

(単位:百万円)

	10/3末	09/3末	増減額
現金及び預金	10,941	2,912	+8,028
売上債権	14,726	13,902	+824
有価証券	0	512	▲512
たな卸資産	10,841	9,435	+1,405
スワップ資産	51	329	▲277
その他	1,125	1,318	▲193
流動資産合計	37,684	28,410	+9,274
固定資産合計	22,820	19,828	+2,992
資産合計	60,504	48,238	+12,266

借入増

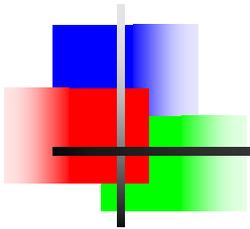
山形新工場関連投資

山形新工場関連未払金による

長期借入金40億円

仕入債務	5,557	4,330	+1,227
その他	8,002	4,912	+3,090
流動負債合計	13,560	9,242	+4,318
長期借入金	4,000	0	+4,000
その他	998	950	+48
固定負債合計	4,998	950	+4,048
負債合計	18,559	10,193	+8,366
純資産合計	41,945	38,045	+3,899
負債・資本合計	60,504	48,238	+12,266

Ⅱ. 2011年3月期見通し



2011年3月期計画

(単位:百万円、%)

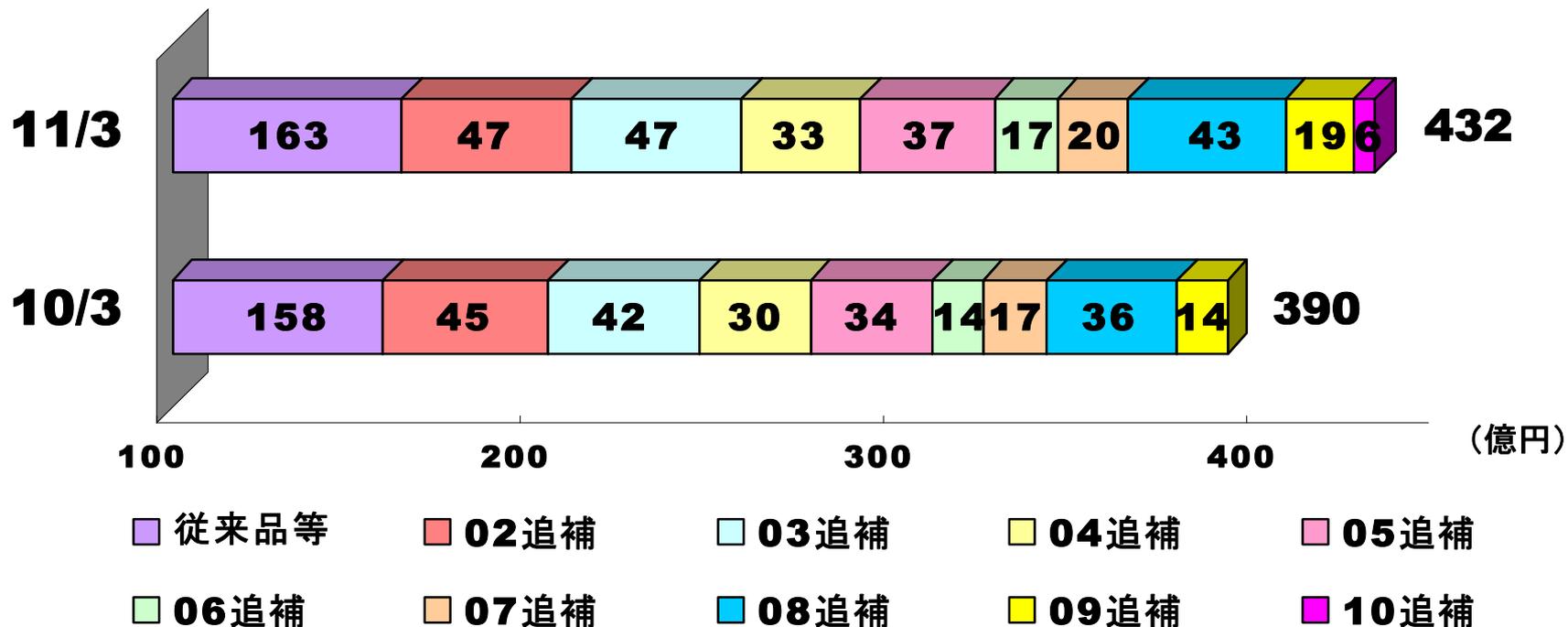
	11/3期(計画)			10/3期	
	金額	対売上 高比率	前年 同期比	金額	対売上 高比率
売上高	43,200	—	+10.6	39,043	—
営業利益	8,900	20.6	+14.9	7,744	19.8
経常利益	8,800	20.4	+18.4	7,430	19.0
当期純利益	5,300	12.3	+15.2	4,601	11.8

2011年3月期計画(中計比)

(単位:百万円、%)

	11/3期(計画)			中計	
	金額	対売上高比率	中計比	金額	対売上高比率
売上高	43,200	—	+4.9	41,200	—
営業利益	8,900	20.6	+4.7	8,500	20.6
経常利益	8,800	20.4	+1.1	8,700	21.1
当期純利益	5,300	12.3	+1.5	5,220	12.7

追補年度別売上見込



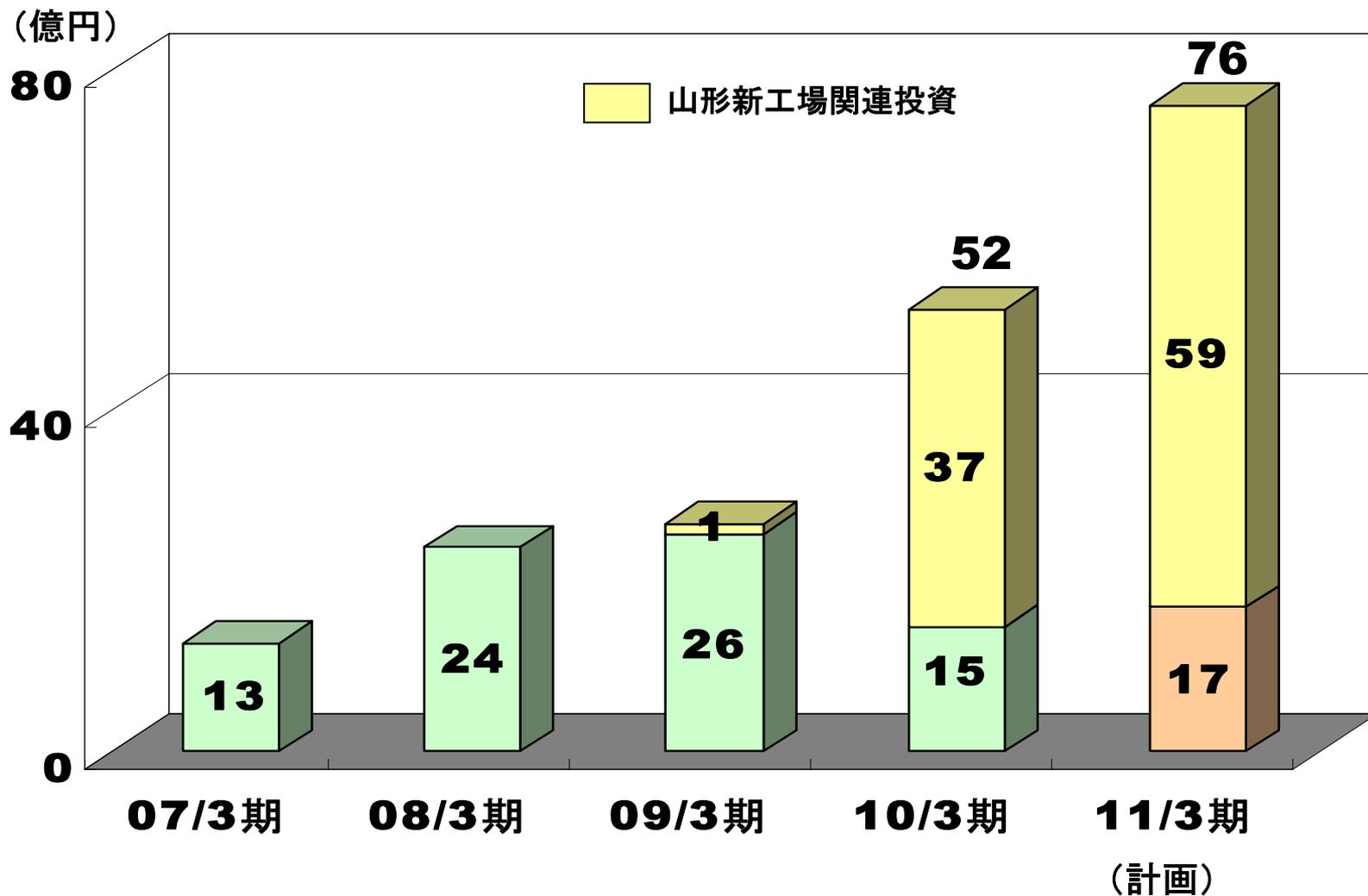
- **10年追補は、5月に15品目、11月に20数品目程度を上市予定**
- **08年追補は、アムロジピンのさらなる拡売をはかる**
- **03～07年追補は、重点品目を中心に微増**
- **従来品等、02年追補は、ほぼ横ばい**

主な5月上市品

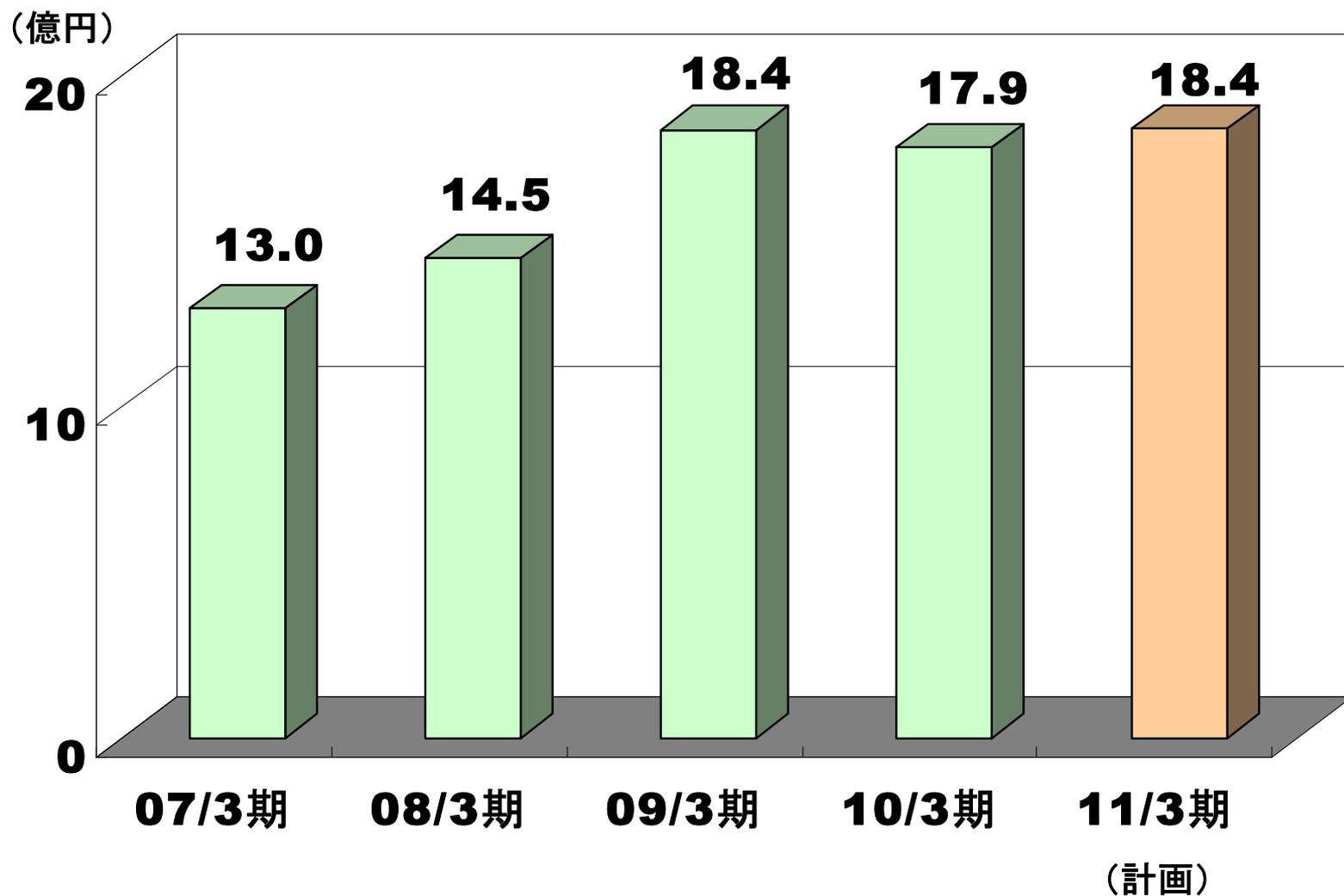
(単位:億円)

販売名	先発名	09年先発 販売実績
ビカルタミド錠 80mg 「トーワ」	カソデックス	462
タムスロンOD錠 0.1mg/0.2mg	ハルナールD	403
ラタノプロスト点眼液 0.005% 「トーワ」	キサラタン	331
エルピナンDS小児用 1%	アレジオンドライシロップ	37
アムロジピン内用ゼリー 2.5mg/5mg 「トーワ」	--	--
ほか、合計 13 成分 15 品目		

設備投資計画

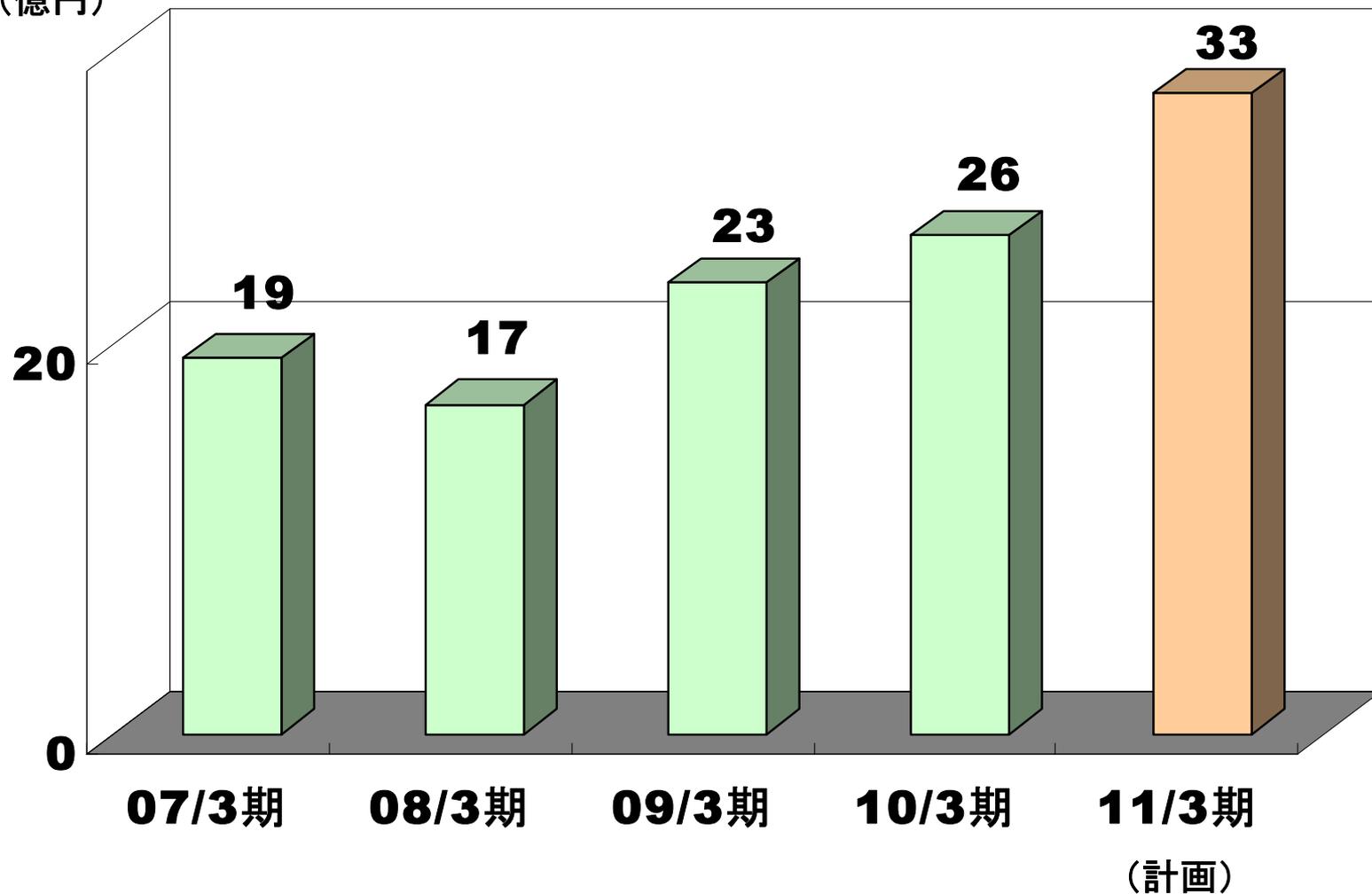


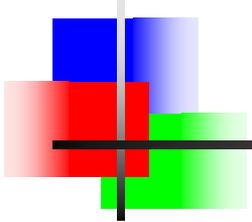
減価償却費



研究開発費

(億円)





制度変更の影響見込み

2010年4月 ジェネリック医薬品使用促進策とその影響

後発医薬品調剤体制加算の見直し

✓数量ベースへの変更(7割の薬局は**20%**未満)

✓段階的な点数設定(**6点、13点、17点**)

⇒**08年4月**よりも大きな影響か？

⇒積極的な薬局とこれから動く薬局、

あきらめている薬局など、まだら模様的情勢

東和の**4月**の月次売上：対前年同月比**+21%**

(**08年4月**は同**+19%**)

営業所の開設について

営業体制の拡充

・配送要員の拡充

09年3月末 **10年3月末** 今期末計画
17名 \longrightarrow **57名** \longrightarrow **97名(計画)**

・代理店との関係強化

代理店の自販力に応じたりべート体系への変更
(10年4月～)

・営業所の開設

代理店との関係強化が見込めない地域、
及び安定供給体制強化の必要な地域に営業所を開設

09年12月 山形

10年4月 京都、滋賀、福知山、高知、府中

10年5月 鳥取 (現在**20**営業所)

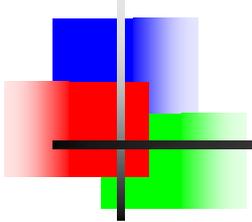
※今年度中に約**10**箇所の営業所を開設計画

山形新工場

10年3月 起工式



12年3月までに操業開始の見込みで計画通り進捗



東和の製剤技術

NPO法人ジェネリック医薬品協議会

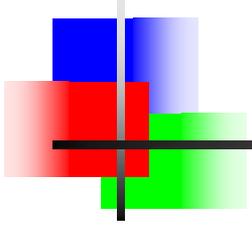
レボフロキサシン内用液**25mg/mL**「トーワ」

優秀ジェネリック医薬品奨励賞を受賞 (**10年4月**)

アムロジピン**OD錠2.5mg/5mg**「トーワ」の最優秀ジェネリック医薬品賞
(**09年4月**)に続いて**2年連続受賞**

RACTAB(アムロジピン**OD錠2.5mg/5mg**「トーワ」
など)の開発

2010年度日本薬剤学会旭化成創剤開発技術賞に
選定



中計の進捗

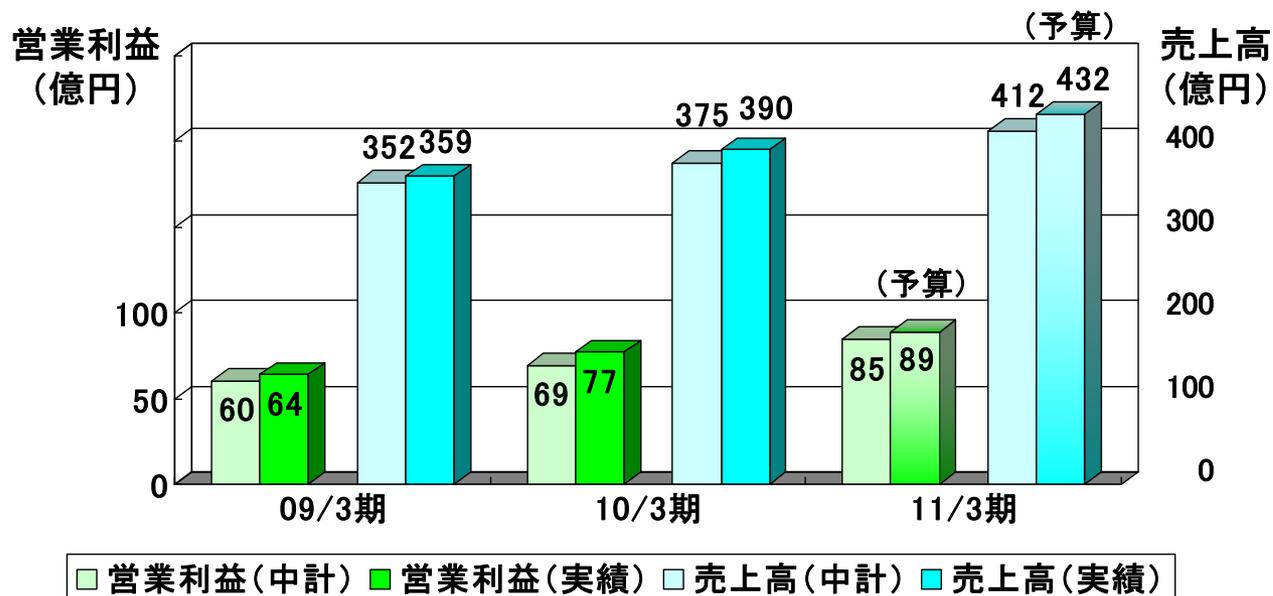
主要課題

- ① 信頼性の確立
情報提供体制の拡充など一定の成果
- ② 診療所・中小病院・保険薬局市場の強化
代理店、営業所網の整備に加え、
大病院市場の開拓も計画以上に進捗
- ③ 製剤技術・製造技術の向上
「**RACTAB**の東和」のブランドイメージの定着

中計の進捗

数値目標

3年目の売上、利益計画を上回る今年度計画を策定



次期中計(2011.4~2014.3)

2011年5月頃に発表する予定

課題: 売上高1000億円超の企業像を見据えた体制づくり



<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 経営企画部

TEL : **06-6900-9101**
FAX : **06-6900-0634**

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。